

# 第 66 回 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事概要

日 時：令和 2 年 12 月 21 日(月) 10：30～11：36

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### ○ 会議の概要

#### <報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 各部局における新型コロナ対策の状況や県及び国の決定事項に係る周知の状況について報告された。

#### <議題>

- ◇ 「沖縄県イベント等実施ガイドライン」について、「RICCA」の利用促進を図るとともに国の方針に準じて改正することについて、決定した。

## 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、長濱 環境部参事、新木 県警警備二課長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、幸地 農政企画統括監、上原 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、渡久地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監

## 2 報告事項

### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
  - ✓ 緊急特別対策を発表して 1 週間が経過し、順調に新規感染者数や病床占有率が減少してきている。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
  - ✓ 先週あたりから北部地区で感染者が増えており、コロナ病床の占有率も上昇している。さらに患者が増加するようであれば、中南部に移送することも検討している。
  - ✓ 伊平屋島で 10 名近くの感染者が確認されており、北部病院から医師を、病院事業局から島ナースを派遣するなど伊平屋島診療所の応援態勢を取っている。

## (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】
  - ✓ 12月19日に嘉手納基地で1名、キャンプフォスターで1名の新規感染者が報告されている。昨日は日曜日で米軍基地内での検査が行われていない。

## (3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-10】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
  - ✓ 毎日の入院者数は1桁台、退院者数は2桁台で推移している。
  - ✓ 非コロナの病床利用率は90%以上となっており、厳しい状況が続いている。
  - ✓ 直近1週間の人口10万人あたり新規感染者数を全国と比べると、1位は東京都で沖縄県は18位となっている。沖縄の感染者数は全国平均を下回っているが、東京などの都心部の感染拡大は、今後、沖縄に影響するかもしれない。
  - ✓ 県内の地域別の感染状況を見ると、北部地域で感染拡大が見られる。
  - ✓ 感染者に占める60代以上人口の割合は減ってきている。
  - ✓ 医療のひっ迫を考慮する指標として、中等症以上の割合があるが、次第に減少している状況にある。
  - ✓ 先週の実行再生産数は0.77となっており、減少傾向を表している。

## (4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 総括情報部から、各地で運用している軽症者用宿泊療養施設の状況について報告
  - ✓ 宮古島市内、石垣市内の宿泊療養施設については、入所者がいない。那覇市内の宿泊療養施設は54人で横ばいだが、名護市内は20人と療養者が多くなっている。

## (5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】

- 配付資料のとおりであり、説明を省略した。

## (6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告

- ✓ 那覇市内の専門学校でクラスターが確認され、那覇市保健所が調査等の対応を行っている。
- ✓ 名護市内の接待を伴う飲食店で6名の感染が確認されており、今後クラスターに認定する予定である。

## (7) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 総括情報部から、直近1週間は宮古・八重山地域の感染状況には落ち着きが見られることについて報告【資料7】

## (8) 「RICCA」の普及啓発について

- 文化観光スポーツ部からLINE公式アカウント「沖縄県-新型コロナ対策パーソナルサポート」の新たな機能である「RICCA（リッカ）」の活用促進状況について報告【資料8】
- ✓ イベント参加者へ導入促進を図ると同時に、イベントでの感染拡大を抑制するために、イベント主催者や参加者に「RICCA」の活用を図るよう、「沖縄県イベント等実施ガイドライン」を改定することとしている。
- ✓ 併せて「沖縄県イベント等実施ガイドライン」の改定を市町村に通知する際に、「RICCA」の活用促進を通知していただきたいと考えている。
- ✓ 各部局についても、所管する団体やイベント、管理施設等で「RICCA」の積極的な普及と活用をお願いしたい。
- ✓ 昨日、チームアプリ（※アプリの利活用を図るための県職員チーム）が国際通りに繰り出し、PRイベントを実施した。イベント会場の入口や商店街で、RICCAの導入を呼びかけた。商店街理事長からは、国際通りを「RICCA」を推進するモデルストリートにしてはどうかとの提案があった。
- 知事公室から県庁職員への「RICCA」の導入促進の状況について説明があった。
- ✓ 「RICCA」の普及促進を図るには、まず、県庁職員への導入促進を図る必要があり、知事公室特命推進課を中心に普及を図っているところである。

- ✓ 現在は県庁職員の導入率は部署によってばらつきがあり、全体としては約 35%。  
導入率 70%を目指したいと考えている。

### (主な発言)

- ✓ 「RICCA」の機能は「COCOA」に負けていない。是非、アイデアを出して県庁職員への導入率を上げていく必要があるとの発言あり。
- ✓ 次回の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、県職員への導入率及び導入に向けた各部局の取組内容を報告するよう指示があった。
- ✓ 「RICCA」については、医療も商工も含めて施策も推進しながら、アプリを拡げることによって県民の皆さまに感染症対策の意識を広めていくという、非常に丁寧かつ大きな取組にしていきたいという気持ちがある。そのことを踏まえて、県から発信して行くにあたり、各県職員は、いわゆるアプリマスターとなって普及に努めていただきたい、との発言があった。
- ✓ 県職員の導入率 70%については、今週中に達成するよう、指示があった。

### <その他報告事項>

- 文化観光スポーツ部から TACO の週間実績及び観光アクションプランの改定を予定していることについて報告
  - ✓ 那覇空港に設置しているサーモグラフィー前を通過した人は 15 万 3 千人あまりいて、そのうち、発熱が感知されたのは 20 人、TACO に健康相談があったのは 6 件、検査につないだ実績は無かった。
  - ✓ TACO は、必要な人に那覇空港内で検査する体制を取っているところであるが、12 月 28 日頃から民間の検査機関で検査をする体制に移行する予定である。
  - ✓ 沖縄県観光アクションプラン「沖縄 Tour Style With コロナ」の改定を予定しており、次回の対策本部会議で報告する予定である。

### 3 議題

#### (1) 沖縄県イベント等実施ガイドラインの改正について【資料9】

- 保健医療部「沖縄県イベント等実施ガイドライン」の改正案について説明。
  - ✓ 「COCOA」に加え、「RICCA」の活用促進を明記するとともに、活用方法や各アプリに関する説明を追記した。
  - ✓ 参加者の把握のため、基本的に「RICCA」を活用することとし、「RICCA」が利用できない人のために、名簿作成等による対応も可とするものとした。
  - ✓ 11月12日付けの国事務連絡に基づき、11月末までとしていたイベントの開催に係る人数制限等の要件を2月末まで延長することとした。併せて、同事務連絡で新たに示された業種別ガイドラインの遵守徹底や、イベントへの入場を断った際の払い戻し措置等について、県のガイドライン案に盛り込んだ。

#### (質疑応答)

- イベント主催者に対して「RICCA」の利用が義務的なものとなるよう改正するものなのか、質問あり。
  - ✓ 保健医療部から、そのとおりであり、「RICCA」の利用が難しい場合は、参加者名簿を作成して対応することも可とする改正案である旨説明。
- 「沖縄県イベント等実施ガイドライン」の改正案について、了承された。
- 改正により「RICCA」を普及し、感染拡大を防いでいくこととしたいので、各部署においても協力をお願いする旨の発言があった。

#### <議題のまとめ>

「沖縄県イベント等実施ガイドライン」について、「RICCA」の利用促進を図るとともに、国の事務連絡に準じて改正することを決定した。

### 4 その他報告

#### (1) 各部署の対応状況について

- 新型コロナウイルス感染症に関する国や県からの通知文書について、各部署が

各所管団体等に通知している状況について報告があった。

- 各部局において実施している新型コロナウイルス感染症対策の状況について報告があった。

#### (その他意見)

- 新型コロナ対策は、一部の部局だけで一生懸命取り組むのではなく、全部局で取り組み、重要な通知は広く県民に行き届くように周知を図る必要があるとの発言あり。
- 外からウイルスを持ち込んで受験生に感染させないためにも、体調不良者の外出自粛について県民に呼びかけて欲しいとの発言あり。
  - ✓ 総括情報部から、ブリーフィング等を通して、体調不良者は外出を自粛するよう、呼びかけることとした。
- 保健医療部から、新型コロナウイルスワクチン接種に係る体制確保について、説明と依頼があった。
  - ✓ 3月にはワクチン接種が始められるよう、体制を確保する必要がある。
  - ✓ ワクチン接種は基本的に市町村が実施主体となる事業であるが、県は、国から割り当てられたワクチンを市町村に配分したり、医療機関や卸業者と市町村との仲介をしたり、コールセンターを設置したりというような役割があり、早急に体制を整える必要がある。
  - ✓ 事務量が膨大となり、人員確保が必要であるため、各部局から職員の応援をお願いしたい。
  - ✓ ワクチン接種チームへの職員の応援依頼に関し、各部局が協力することについて了解された。

## 5 閉 会